

医療業 取組事例③ (所定外労働削減/社員数約1,000名)

取組の背景：

看護職が「いきいきと長く働ける職場環境づくり」を目指して、時間外労働の削減を推進する。

取組の概要：

【取組Ⅰ】 時間外労働削減に関する取組

(1) アンケート調査を実施

時間外勤務に関するアンケート調査を実施。気兼ねなく帰れるための取組について各部署で話し合いを行い、全部署で情報を共有した。

(2) 常態化する「前残業」の削減

アンケート調査の結果をもとに、数か月分の勤怠データを分析。早出勤務が常態化している職員に対して、個々に面接を実施し改善を促すとともに、日勤の朝の申し送りを「始業後」に行うことを徹底した。

(3) 終業後の「終礼」の実施

日勤終了時の17時に「終礼」を実施。病棟ごとに可能な限り勤務者全員が参加し、業務終了の意識付け、残務の有無の確認などを行った。

取組の効果：

◆時間外労働が月20時間以上の職員割合が低下した。

2014年 11.6% → 2016年 10.5% (2017年目標 9.3%)